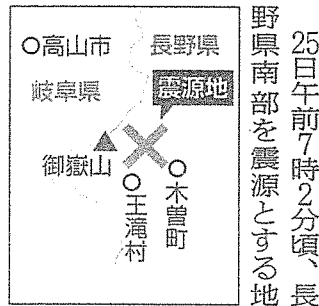


長野南部 震度5強

2人けが 落石一時通行止め

余震続く



25日午前7時2分頃、長野県南部を震源とする地震があり、同県王滝村と木曾町で震度5強を観測した。震源の深さは7キ、地震の規模を示すマグニチュードは5.6と推定される。揺れの強かった地域では、落石や崖崩れの危険性があり、気象庁は「今後1

週間程度、地震に注意してほしい」と呼びかけている。同庁によると、最初の地震の後、25日午後10時までに観測された震度1以上の地震は28回。午前9時24分頃と午後3時17分頃には、

木曾町などで震度4を観測した。

2014年9月に噴火した御嶽山との関連について、気象庁の松森敏幸・地震津波監視課長は25日の記者会見で、「関連性はわからない」と述べた。御嶽山の火山活動に異常は確認されていないという。木曾地域では1984年9月に、死者・行方不明者29人を出した長野県西部地震が起きているが、同庁は今回の地震との関連は低いとみている。

JR東海によると、この地震で、東海道新幹線が新横浜―掛川間で緊急停止。約10分後に運転を再開した。中央線、高山線、飯田線も運転を見合わせ、在来線25本が最大1時間47分遅れた。

長野県などによると、同県木曾町の女性(60)が自宅で倒れてきたタンスに足を挟まれて軽いけがをしたほか、同県王滝村の80歳代女性が、落下物が頭に当たって軽傷。3町村の22棟で屋根瓦が落下するなどし、王滝村では90戸が最大4時間停電した。

各地の震度は次の通り。
▽震度4 長野県上松町、大桑村、石川県輪島市、岐阜県高山市、下呂市、中津川市
▽震度3 長野県松本市、諏訪市、石川県七尾市、岐阜県飛騨市、岐阜市、富山県射水市、浜松市天竜区、名古屋市中北区、滋賀県彦根市など

王滝村では直径約1.5

の石2個が村道に落下。木曾町のホテルでは、町中心部につながる町道に落石があり、宿泊客約60人が一時、通行できなくなった。岐阜県高山市でも県道が一時、落石のため通行規制された。